

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	18	学校名	宇都宮市立宮の原小学校
----	---------------	------	----	-----	-------------

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

豊かな人間性をもち、主体的・創造的に生きていくことができる健康でたくましい子どもの育成

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 【目指す子ども像】・自ら考え主体的に学ぶ子ども 《本気で学べ》
・たくましい心と健やかな体をもち、元気でがんばれる子ども 《元気に遊べ》
・正しい判断力をもち、明るく思いやりのある心豊かな子ども 《正しく生きよ》
・人や社会のために進んで働く子ども 《喜んで働く》
- 【目指す学校像】・学びのある学校 《真っ直ぐに立つ けやき【自立】》
・活気ある学校 《高くそびえる けやき【活力】》
・笑顔いっぱい为学校 《みんなに優しい けやき【共生】》
・地域とともにある学校 《根をはる けやき【協働】》

2 学校経営の理念

児童一人一人が自分のよさや可能性を伸ばせる学校、教職員が働きがいを実感できる学校、家庭や地域との連携・協働による地域とともにある学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針

- (1) 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む教育を実践し、カリキュラムマネジメントにより学習効果の向上を図るとともに、本年度の重点目標について学校・保護者・地域が共有しながら特色ある教育活動「宮小けやきプラン2025」を推進する。

【児童一人一人が自分のよさや可能性を伸ばせる学校】

- ①「自ら考え主体的に学ぶ子ども」を育成するため、ICT等を効果的に活用し「宇都宮モデル」などを踏まえ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と教師のコーディネートにより安心して考えを伝え合い互いに高め合う集団の育成に努める。 《本気で学べ》
- ②「たくましい心と健やかな体をもち、元気でがんばれる子ども」を育成するため、「元気アップ教育」を核として、健康で安全な生活ができる望ましい生活習慣や食習慣を身に付ける指導と、運動意欲の向上を図る教育活動を推進する。 《元気に遊べ》
- ③「正しい判断力をもち、明るく思いやりのある心豊かな子ども」を育成するため、自己有用感を高めるため認め励ます教育の推進、豊かな体験活動や読書活動の充実、全教育活動を通じた「宮っ子心の教育」を推進する。 《正しく生きよ》
- ④「人や社会のために進んで働く子ども」を育成するため、学校や地域の環境に関心をもち仲間とともに根気よく働くことやボランティア活動の充実と「宮・未来キャリア教育」の推進に努める。 《喜んで働く》

- (2) 全ての教職員が学校経営の理念に基づき目標を共有化し、自己研鑽に努めながら児童一人一人を大切にされた教育活動を実践する。また、教職員が生き生きと健康で働きがいを実感できるよう、働き方改革の視点に立ち、リフレッシュウィーク等の勤務時間を意識した働き方の推進や業務の適正化・効率化を目指す。 《教職員が働きがいを実感できる学校》

- (3) 地域協議会と連携しながら、地域教育力の積極的な活用と人材発掘、地域行事との連携、積極的な情報発信と学校公開等を通して家庭・地域と一体となった地域に根差した取組の充実を図り、地域とともにある学校づくりに努める。一条地域学校園（小中4校）の連携強化により、積極的な情報共有と児童生徒の実態に即した取組を通して小中一貫教育を推進する。《地域とともにある学校》

【一条地域学校園教育ビジョン】

基本をしっかり身に付け、地域に生きる子どもを育む一条地域学校園

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育基本法、学校教育法及び同施行規則、新小学校学習指導要領の示すところから従うとともに、「栃木県教育振興基本計画2025」及び「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「令和7年度

指導の重点」の趣旨に基づきながら、本校児童の実態を踏まえ、教育目標の具現化が図られるよう調和と統一のある教育課程を編成する。

- (2) 本年度の経営方針、努力点や具体策、前年度活動の評価等を踏まえ、地域社会の実情・児童の心身の発達段階や特性・子どもの育成にかかわる多くの関係者の願いを考慮し、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指した特色ある教育活動「宮小けやきプラン2025」を推進する。
- (3) 各教科・道徳科・特別活動・総合的な学習の時間・外国語活動など、各教育活動において長期間にわたる学びの連続性をもたせるとともに、相互に関連性のある編成に努め、教科等横断的な視点で各教科の関連付けを図りながら教育課程を編成し、カリキュラムマネジメントの充実に努める。
- (4) 「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

自ら考え主体的に学ぶ子ども《本気で学べ》、たくましい心と健やかな体を持ち、元気でがんばれる子ども《元気に遊べ》、正しい判断力を持ち、明るく思いやりのある心豊かな子ども《正しく生きよ》、人や社会のために進んで働く子ども《喜んで働く》を目指す子ども像として、全教職員が協働し活気ある学校づくりに努め「宮小けやきプラン2025」を推進する。

○「小中一貫教育と地域学校園」の取組を推進するとともに、地域の教育力を有効に活用しながら家庭・地域と一体となって地域とともにある学校づくりを推進する。

(2) 学習指導

- ・互いに認め高め合い、進んで学び合える指導の工夫
- 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善

(3) 児童生徒指導

○人とのかかわりを通して、きまりを守ったり人を思いやったりすることができる児童の育成

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

○自らの健康と安全に関心を持ち、進んで体力づくりに励む児童の育成
（体力づくりの推進・望ましい生活習慣の定着・食育の充実・防災教育の推進）

《本年度の重点具体策》「宮小けやきプラン2025」

- | | |
|---------|---|
| ○本気で学べ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 興味・関心を高め、主体的に学習に取り組もうとする課題提示と教材の工夫 ◆ 分かりやすい発問・板書による分かる授業の展開 ◆ 深い学びにつながる活動の設定と発問の工夫 ◆ 「学びのマナー」の共通理解と指導の徹底 |
| ○元気に遊べ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 対話的な活動から学びが生まれる実感を味わうことができる学習活動の工夫 ◆ 地域学校園共通の各種学習カードを活用した運動意欲の向上 ◆ 給食時の学校栄養職員による指導（栄養、食材、行事食、郷土食、食事マナー） ◆ 元気っ子生活習慣チェックを活用した望ましい生活習慣の指導と家庭との連携 ◆ 地域学校園による食事マナー月間、お弁当の日等の共通実施、郷土料理、お話給食の共同実施 ◆ 地域と合同の防災訓練の実施 |
| ○正しく生きよ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「宮小3つの約束」を活用した望ましい行動習慣の形成 ◆ 児童会を中心とした「あいさつ運動」の計画と実行 ◆ 「宮小キラリ賞」による児童の自信や自己肯定感の向上と目指す子どもの具現化 ◆ 人との関わりを重視した異学年交流・幼保小交流 ◆ 「宮小いじめゼロ運動」の実施、児童会による「いじめゼロ集会」の実施 ◆ 児童に対する理解を深め、日常的な児童への対応や言葉かけ等の技能向上 ◆ 「本はともだちプロジェクト」の推進 |
| ○喜んで働く | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 当番活動や清掃での努力を認め責任感を育む指導 ◆ 係活動や委員会活動での主体的活動の促進 ◆ あいさつや読み聞かせ、落ち葉清掃等のボランティア活動の奨励 ◆ 中学校、地域と連携した活動の実施 |

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

「宮小けやきプラン2025」に基づく資質・能力

- ・知識・技能の確実な習得とその活用を図った学習指導を通して，思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・様々な人とのふれあい体験やボランティア活動を通して，自尊感情，奉仕の心，共生の心，望ましい習慣やマナーなどを育む。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

① 確かな学力の向上

- ・楽しい授業・分かる授業の推進
- ・習熟度別学習，少人数指導，TTなどによる全校指導体制の整備と個に応じた指導の充実

◇一人一人のよさを伸ばす評価の工夫

◇「朝の学習ステップアップタイム」「家庭学習強化週間」などを通じた取組の徹底・充実

◇特別支援教育の体制の整備

② 読書活動の推進

- ・望ましい読書の習慣化を目指した図書館利用の促進（ガイダンスの実施，授業との関連を図った市立図書館等との連携）

- ・「宮小本はともだちプロジェクト」の実施

（おはなしたのしいね・おはなしワクワク・読書タイム等の実践）

③ 健やかな体の育成

◇自ら体力を伸ばす態度の育成（元気っ子プロジェクト・各種検定表の有効活用）

◇自己の健康管理能力の育成を図る指導（各種出前授業）

◇望ましい食習慣を身に付ける食育

④ ボランティア教育の推進

- ・学年の発達段階に応じた係活動の充実

- ・児童会を中心としたあいさつの啓発活動，「落ち葉掃き清掃」や「宮っ子清掃ボランティア」などの校内美化や栽培活動の実施

⑤ 人とのかかわる力を育む教育の推進

- ・学校園及び学校・家庭・地域の協働によるあいさつ運動の推進（児童会活動の充実，「みやのはらあいさつ運動」の設定）

- ・縦割り班活動の充実（よろしく集会，ありがとう集会，ウォークラリー，共遊など）

- ・望ましい行動習慣の形成（宮の原小3つの約束《あいさつ・よく聞く・よい返事》の実践）

- ・読み聞かせボランティアやあいさつボランティア，MYグランプリ（特技発表会）など，児童の主体性の醸成と地域人材の一層の参画

◇幼保小連携の推進（生活科との関連を図った交流会の設定「小学校について紹介しよう」）

◇PTA・地域と連携協力して進める防災訓練・地域クリーン活動，高齢者との交流会，ボランティア感謝の会等の実施

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

① 基本的考え

- ・子どもたちの健全育成を目指し，学校・家庭・地域が学校経営のビジョンを共有し，連携・協働しながら，それぞれの立場の特性を生かして子どもたちとのかかわり，地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

② 主な取組

- ・地域教育力の積極的な活用（各種ボランティアの授業等への積極的な活用と人材発掘）

- ・あいさつの習慣化（地域と連携した「みやのはらあいさつ運動」の展開）

- ・地域・家庭と一体となった学校行事等の推進（読み聞かせボランティア（おはなしたのしいね・お昼のおはなし会），防災訓練，地域クリーン活動）

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

- ・児童の学力保障と学校生活適応を目指すために、9年間を見通した一貫性のある指導を継続するとともに、地域教育資源を活用する。

②主な取組

- ・各教科の「育てたい力」を活用した小中一貫教育カリキュラム作成と実践
- ・高学年の教科担任制を念頭においた指導力向上と中学校教員による乗り入れ授業の促進
- ・6年生の中学校訪問や特別支援学級交流会、合同あいさつ運動等小中交流の効果的実施
- ・業務の効率化や平準化に向けた地域学校園事務室経営

(3) 不登校対策

①基本的考え

- ・新たな不登校を生まないため、学校（学級）経営を充実させ、「学校（学級）が楽しい」と思えるような雰囲気づくりを心掛けるとともに、積極的な児童理解と児童・保護者との信頼関係構築に努め、全職員で組織的に対応する。

②主な取組

- ・児童と教師、児童相互の豊かな人間関係づくりの推進（「Q-U」の結果や「学級力アンケート」、「みやのはらワード」の効果的活用）
- ・不登校の早期発見・早期対応の充実（教育相談、児童アンケートの効果的活用）
- ・組織的対応と関係機関等との連携
- ・新たな不登校を生まない集団づくり、不登校傾向児童等配慮児童に対する校内支援体制の確立、教育相談係、児童指導主任を中心としたケース会議の開催、スクールカウンセラー等の活用

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

- ・主体的・対話的で深い学びを実現するため、ICTを効果的に活用し、特別な支援を必要とする児童を含め、多様な児童一人一人に個別最適化された探求的な学びを促進するよう、発達段階に応じた体系的な指導及び授業等における積極的な活用を推進する。

②主な取組

- ・授業における効果的な活用
- ・プログラミング教育の推進
- ・情報モラル教育の充実
- ・職員研修の充実

(5) 宇都宮学

①基本的考え

- ・郷土宇都宮のよさや特徴に気付き、郷土への愛情や誇りをもって郷土の未来について主体的に考えていこうとする態度を養うため、体系的な学習を推進する。

②主な取組

- ・校外学習や体験学習などに関連付け、主体的な探求活動になるようなカリキュラム・マネジメントの実施
- ・「宇都宮学」副読本を活用し、宇都宮の自然や交通、伝統文化に目を向けさせる授業づくり

